

P155a オリオン領域における星形成領域の変遷

西亮一, 山田優太郎, 関口卓馬 (新潟大学)

我々は Gaia DR2 の位置天文情報を用いてオリオン領域の星形成についての解析を行ってきた。そして、Orion OB I アソシエーションを天球面での位置によってサブグループに分割し、それぞれのサブグループについて星形成史を調べた。その結果として、多くのサブグループにおいて星形成の開始時刻の差はかなり小さく、連鎖的星形成を示す証拠は見られなかった。

今回我々は、オリオン領域において固有運動の精度と H-R 図による年齢推定の精度が共に高い星をピックアップし、オリオン領域全体での星形成の時間進化を調べた。その結果、オリオン A 巨大分子雲ではかなり早い段階から星形成が始まりその後非常に長く星形成が継続しており、領域全体においても非常に重要であることがわかった。また、Orion OB I アソシエーションでの数千万年前から最近までの星形成領域の変遷を全体としてとらえる必要があることがわかった。これらを基にオリオン領域全体での星形成史についての議論を行う。